


令和5年度募集 国分寺市提案型協働事業「提案書」

国分寺市長 殿		令和5年 7月 19日
団体の所在地 東京都杉並区西荻窪北 2-3-9 コメットビル6階 factoria		
団体名 NPO 法人まちのおやこテーブル		
代表者氏名 小林 洋子		
次のとおり提案します。なお、会員名簿・担当者連絡先を除き公開を承諾します。		
1 提案事業名	お父さんのための家事育児参画推進事業 (適合する、市の施策または事務事業： 人権平和課「男女共同参画の推進」)	
2 事業実施期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日まで	
3 提案事業予算	435,392 円	
4 提案事業概要 (事業目的、内容等を400字以内でご記入ください。この欄の記載内容は、ホームページ等で公表します。)	「男女共同参画社会の実現」には男性の家事・育児参加が重要です。男性は家事・育児への参加の必要性は理解していますが、苦手意識や多忙な生活の中で実践できる方法が分からないため行動に移しにくいです。本事業では、炊飯器を使うことで簡単に料理できるノウハウを学ぶワークショップを父と子向けに提供します。父親限定で実施することで苦手意識や気恥ずかしさを持つことなく参加できます。また、子どもと一緒に料理をすることで、弊法人が得意とするモンテッソーリ教育のエッセンスを踏まえた乳幼児が参加しやすい料理の段取りや環境、道具選び、声かけ方法も伝えます。父親が自らの家事能力を向上させるだけでなく、乳幼児の特性を知ることによって料理を通じて親子のコミュニケーション機会を増やし、育児参加のきっかけとなることも目指します。メニューは、地域の魅力や特徴を知り、参加者に国分寺市をより身近に感じてもらうことを目的とします。	
5 添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 企画書(2号様式) <input checked="" type="checkbox"/> 会員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 収支予算書(3号様式) <input checked="" type="checkbox"/> 予算・決算関係書類 <input checked="" type="checkbox"/> 団体概要書(4号様式) <input checked="" type="checkbox"/> 法人市民税納税証明書 <input checked="" type="checkbox"/> 定款又は規約 <input type="checkbox"/> その他()	

1 提案事業名	お父さんのための家事育児参画推進事業
2 事業の目的 （解決すべき社会問題・地域課題、事業の意義や必要性について）	<p>国分寺総合ビジョンにも掲げられている「男女共同参画社会の実現」には、希望する女性の社会参加を支援することとあわせて男性の家事・育児参加の支援が求められる。それは、女性活躍を推進するための条件であると同時に、父母双方が社会参加と家庭運営をともに行うものだという認識を醸成するなど、次世代の男女に対する社会教育の観点からも重要であるとする。</p> <p>男性は家事・育児への参加の必要性は理解しているものの、実際に行動に移すことが難しいという課題がある。男性が家事に参加しにくい理由として、配偶者との比較されることによる苦手意識や多忙な生活の中で実践できる方法が分からないことが挙げられる。しかし、日々家事・育児に追われている妻の立場からすれば、上手くできる以前に、夫が担える家事や育児タスクが増えてほしいというニーズがある。</p> <p>本事業では、炊飯器を使うことで簡単に複数の品数を用意できるノウハウを学ぶワークショップ（炊飯器料理と講座）を父親と子ども向けに提供する。父親限定で実施することで苦手意識や気恥ずかしさを持つことなく参加でき、国分寺市在住の同じ立場の住民と共に単発または複数回参加することで交流の機会を増やす。父子がワークショップに参加している間に母親が自分のための時間を取り、作ったものを持ち帰り食事の用意が楽になることにより、母親の後押しを得られ父親が参加しやすくする。</p> <p>また、子どもと一緒に料理づくりをすることで、弊法人が得意とする子どもの主体性を育むモンテッソーリ教育のエッセンスを踏まえた乳幼児が参加しやすい料理の段取りや作業環境、道具選び、声かけ方法も伝える。父親が自らの家事能力を向上させるだけでなく、乳幼児の特性を知ることによって料理を通じて親子のコミュニケーション機会を増やし、育児参加のきっかけとなることも目指し、子ども自身も男女問わず料理に目覚め楽しむことで次世代教育にもつながる。</p> <p>また、国分寺産の食材や姉妹都市の特産を使ったメニューにすることで、暮らす地域の魅力や特徴を知り、参加者に国分寺市をより身近に感じてもらうことを目的とする。</p>
3 事業の内容 （事業の目的を達成するために何をするか）	<p>3回実施/年とする。複数回参加可。</p> <p><第1回></p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座タイトル「炊飯器料理の魅力」（仮） ・実施内容 自己紹介、炊飯器使用時の注意事項、炊飯器料理の実践（レシピ1）、講座「炊飯器の魅力」、感想 <p><第2回></p>

	<ul style="list-style-type: none">・講座タイトル「親子のできた！を増やすポイント」（仮）・実施内容 自己紹介、炊飯器使用時の注意事項、炊飯器料理の実践（レシピ2）、講座「親子のできた！を増やすポイント」、感想 <p><第3回></p> <ul style="list-style-type: none">・講座タイトル「こくベジって知ってる？」（仮）・実施内容 自己紹介、炊飯器使用時の注意事項、炊飯器料理の実践（レシピ3）、講座「こくベジって知ってる？」、感想																										
4 事業計画 （事業の実施スケジュール）	<p>4月 開催日の決定。レシピ、講座内容の決定。講座周知用チラシを作成。 5月 事業の告知。 7月、8月、9月実施 10月 事業振り返り。まとめ。</p> <table><tr><td rowspan="3">日時</td><td>第 1 回</td><td>第 2 回</td><td>第 3 回</td></tr><tr><td>7月予定</td><td>8月予定</td><td>9月予定</td></tr><tr><td>10：00～12：00</td><td>10：00～12：00</td><td>10：00～12：00</td></tr><tr><td>タイトル</td><td>炊飯器料理の魅力</td><td>親子のできた！を増やすポイント</td><td>こくベジって知ってる？</td></tr><tr><td>調理指導（講師）</td><td>かていかや Hitoshi （かていかやHitoshi）</td><td>かていかや Hitoshi （モンテッソーリ講師）</td><td>かていかや Hitoshi （こくベジ担当）</td></tr><tr><td>対象</td><td>乳幼児を子育て中の父親と子ども</td><td>乳幼児を子育て中の父親と子ども</td><td>乳幼児を子育て中の父親と子ども</td></tr><tr><td>定員</td><td>約10組</td><td>約10組</td><td>約10組</td></tr></table>	日時	第 1 回	第 2 回	第 3 回	7月予定	8月予定	9月予定	10：00～12：00	10：00～12：00	10：00～12：00	タイトル	炊飯器料理の魅力	親子のできた！を増やすポイント	こくベジって知ってる？	調理指導（講師）	かていかや Hitoshi （かていかやHitoshi）	かていかや Hitoshi （モンテッソーリ講師）	かていかや Hitoshi （こくベジ担当）	対象	乳幼児を子育て中の父親と子ども	乳幼児を子育て中の父親と子ども	乳幼児を子育て中の父親と子ども	定員	約10組	約10組	約10組
日時	第 1 回		第 2 回	第 3 回																							
	7月予定		8月予定	9月予定																							
	10：00～12：00	10：00～12：00	10：00～12：00																								
タイトル	炊飯器料理の魅力	親子のできた！を増やすポイント	こくベジって知ってる？																								
調理指導（講師）	かていかや Hitoshi （かていかやHitoshi）	かていかや Hitoshi （モンテッソーリ講師）	かていかや Hitoshi （こくベジ担当）																								
対象	乳幼児を子育て中の父親と子ども	乳幼児を子育て中の父親と子ども	乳幼児を子育て中の父親と子ども																								
定員	約10組	約10組	約10組																								
5 目標値 （事業期間で達成する目標）	<p>■参加者の参加前・後の意識の変化についてアンケート調査を行い、以下の変化を目標として設定する。</p> <ul style="list-style-type: none">・参加人数 親子ペア10組×3回（延べ30組，60人）参加・お子さんの年齢で同じテーブルにするなど考慮し、父子ともに顔見知りとなる。・炊飯器料理を学び、家で実施ができる。・料理をすることのハードルが下がる。・配偶者の家事の負担が軽減され家事の共同化が進む。・刃物を使わない簡単レシピとモンテッソーリ教育に基づく作業段取りや手本の見せ方を通じ、子ども自身も男女問わず料理に目覚め楽しむことで次世代教育にもつながると感じる。・家族の笑顔が増える。・国分寺産の食材を知り、より身近に感じられる。																										
6 事業の対象 （地域，具体的対象者，対象総	国分寺市在住、在勤、在学の乳幼児を子育て中の父親と子ども（2歳～6歳）																										

人数等)	
7 事業の実施場所	ひかりプラザ 調理室
8 役割分担 (具体的に)	<p><提案団体が担う役割></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催案内のチラシ作成 ・炊飯器料理指導 ・講座運営 ・炊飯器等の調理器具の手配 (追加分) ・参加する子どもの休憩場所 (キッズスペース) の会場内の設置手配 ・キッズスペースの見守りサポート (補助) の確保 ・申し込み受付、問い合わせ対応 <p><市が担う役割></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者への周知広報 ・会場の手配 ・炊飯器等の調理器具の手配 ・キッズスペースの見守りサポート (保育士) 手配 ・0～1歳の託児 (保育士) ・協働主催者として炊飯器料理を体験し、参加者に体験談を共有いただく。
9 目標が達成された状態	<p>■参加者アンケートで意向を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔見知りとなり自主グループができる。 ・炊飯器料理を学び家で実施でき、料理をすることのハードルが下がる。 ・配偶者の家事の負担が軽減され家事の共同が進む。 ・家事の負担が減ることにより家族の笑顔が増えたと感じる。 ・刃物を使わない簡単レシピとモンテッソーリ教育に基づく作業段取りや手本の見せ方を通じ、子ども自身も男女問わず料理に目覚め楽しむことで次世代教育にもつながると感じる。 ・国分寺産の食材を知り、より身近に感じられ自ら購入するようになる。(アンケート項目は別途精査の上設定する)
10 市と協働する意義及び必要性、協働による相乗効果	<ul style="list-style-type: none"> ・国分寺市ビジョンでもある男女共同参画社会の実現に貢献することができる。 ・地域住民のニーズに応えることができ、住民満足度の向上につながる。 ・地域産業の振興に貢献することができる、地域経済の活性化につながる。 ・国分寺市と協働することで、地域住民へのアピール力が高まり、より多くの参加者を集めることができる。これにより、事業の目的である男性の家事・育児参加促進がより効果的に実現される。 ・国分寺市の支援を受けることで、会場確保や炊飯器等の使用器具の手配がスムーズに行える。
11 事業実施後の展開 (成果の活用方法又は、提案団体の自主的な活動展開等)	<p>国分寺市は、本事業をきっかけに男性及び次世代の家事力・育児力向上を支援することで男女共同参画を実現するための具体的な取り組みを市民に提供していくことができる。また、市民は男女ともに地域とつながりを持ちながら子育てをするきっかけを得て、国分寺市での暮らしの魅力や愛着を感じることができる。</p> <p>提案団体は、市と協働事業を行ったことで市民の皆様の弊法人に対しての信頼度が高まり、弊法人を知ってもらう機会が増えたことで、男女共同参画に向</p>

	けたより効果的なイベント企画・実施を行うことができる。また、他団体（めぐるまち国分寺）の協力を得て事業を実施することで、地域とのつながりの中で子育てをする環境づくりに寄与できる。
--	---

令和5年度募集 提案型協働事業 収支予算書

(収入の部)

大項目	中項目	内訳	中項目計	大項目計
委託費		417,392 円 × 1 回 =	417,392 円	417,392 円
参加者負担金	実務講座	600 円 × 30 組 =	18,000 円	18,000 円
	合 計			435,392 円

(支出の部)

大項目	中項目	内訳	中項目計	大項目計
人件費	講座	講座企画 講座実施企画・立案 リハーサル実施 講座実施 事業実施報告冊子の発行 講座実施サポート 保育士(有資格者) 保育士(無資格者) 定期協議 市との定期協議 講座講師謝礼	1,110 円 × 2.0 H × 3 人 × 3 回 = 1,320 円 × 2.0 H × 1 人 × 3 回 = 1,110 円 × 2.0 H × 3 人 × 1 回 = 1,110 円 × 3.0 H × 2 人 × 3 回 = 1,110 円 × 3.0 H × 1 人 × 4 回 = 1,110 円 × 3.0 H × 5 人 × 3 回 = 1,540 円 × 2.0 H × 2 人 × 3 回 = 1,110 円 × 2.0 H × 2 人 × 3 回 = 12,200 円 × 2.0 H × 1 人 × 3 回 = 13,700 円 × 2.0 H × 1 人 × 1 回 = 13,700 円 × 2.0 H × 1 人 × 1 回 =	19,980 円 7,920 円 6,660 円 19,980 円 13,320 円 49,950 円 18,480 円 13,320 円 73,200 円 27,400 円 27,400 円
印刷製本費		講座周知チラシ(デザイン代、印刷代500枚、講座4回分1種)	36,000 円 × =	36,000 円
消耗品費		配布教材資料(レジビ等)コピー代 衛生品(ペーパータオル、アルコール消毒等) シールラベル 参加者持ち帰り容器(モンテッソーリ講師の回用) 材料費+参加者負担 主催者、講師、サポーター交通費(概算) 行事保険 炊飯器レンタル	400 円 × 10 組 × 3 回 × = 1,000 円 × 3 回 × 1.1 = 250 円 × 2 セット × 1.1 = 100 円 × 10 セット × 1.1 = 600 円 × 30 組 = 700 円 × 8 人 × 3 回 = 33 円 × 28 人 × 3 回 = 3,650 円 × 3 台 × 3 回 =	12,000 円 3,300 円 550 円 1,100 円 18,000 円 16,800 円 2,772 円 32,850 円
旅費交通費				16,800 円
保険料				2,772 円
備品借上げ料				32,850 円
	直接経費計			425,402 円
諸経費		直接経費 報告書作成人件費1,110円×3時間×3名		9,990 円
合 計		(消費税含む)		435,392 円

団 体 概 要 書

団体の名称	エヌピーオーハウジン マチノオヤコテール		
	NPO 法人まちのおやこテール		
所在地	〒167-0042 東京都杉並区西荻北 2-3-9 コメットビル 6 階 factoria		
設立年月日	2021 年 12 月		
会員の状況	正会員数 14 人・ 団体 (内国分寺市民 2 人)	年会費	3,000 円
	賛助会員数 人 団体	年会費	
活動目的	全ての子どもがその存在を尊重され、健やかに成長できるようコミュニティづくりや子どもと共生するまちづくりにより社会環境形成を行うとともに、子どもの能力や個性を尊重しながら親や周囲の大人が自立を助ける実践方法や仕組みの研究、実践、啓発を行い、もって子どもや子育てに肯定的で子どもが社会に包摂され、当たり前前に共生する社会の実現に寄与することを目的とする。		
活動内容・活動実績 (既に協働による委託事業等の実績がある場合には、委託事業名、委託契約先名、委託時期を記入して下さい。)	<p>弊法人は、「子どものいる人も いない人も みーんな「まちのおや」、この辺りに住む子どもたちは みーんな「まちのこども」」をコンセプトに、子どもとそのそばの大人を笑顔にすることをミッションに約 9 年にわたり、主に国分寺市でコミュニティ活動を行ってきた。2014 年 9 月(第 1 回)からの延べ参加人数は1,976 人。これまでの場づくりの様子はレポートにまとめており、ご高覧いただきたい。 (https://machinooyako.com/category/report)。</p> <p>国分寺市における地域活動での学びを社会に還元すべく 2021 年 12 月に NPO 法人化した。本協働事業においては、働き盛り世代の中でも地域参加から遠ざかりがちな父親を対象に、炊飯器講座を通して家事への参画を促すとともに、地域・子育てに関わる「はじめの一步」を後押しする場を提供したいと考えている。</p> <p>【直近での活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ事業「まちの持ち寄りカレッジ」/杉並区NPO活動資金助成事業/2022 年度に実施 ・武蔵国分寺公園にて「ガラガラの森を作ろう」(段ボール制作)ミニイベント/2023 年実施 		
ホームページ	https://machinooyako.com/		

担当者連絡先



特定非営利活動法人まちのおやこテーブル定款

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この法人は、特定非営利活動法人まちのおやこテーブルという。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都杉並区西荻北二丁目3番9号コメットビル6階に置く。

(目 的)

第3条 この法人は、広く一般市民を対象として、全ての子どもがその存在を尊重され、健やかに成長できるようコミュニティづくりや子どもと共生するまちづくりにより社会環境形成を行うとともに、子どもの能力や個性を尊重しながら親や周囲の大人が自立を助ける実践方法や仕組みの研究、実践、啓発を行い、もって子どもや子育てに肯定的で子どもが社会に包摂され、当たり前で共生する社会の実現に寄与することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 子どもの健全育成を図る活動
- (2) 社会教育の推進を図る活動
- (3) まちづくりの推進を図る活動
- (4) 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動

(事業の種類)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、特定非営利活動に係る事業として、次の事業を行う。

- (1) イベント型コミュニティ運営・支援事業
- (2) 幼児教育・子育てに関する社会教育事業
- (3) 育児の自己効力感形成・子どもの自立実践サポート事業
- (4) 子どもと共生するまちづくり推進に関する事業
- (5) その他目的を達成するために必要な事業

第2章 会 員

(種 別)

第6条 この法人の会員は、次の2種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法（以下「法」という。）上の社員とする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人及び団体
- (2) 賛助会員 この法人の目的に賛同し賛助するために入会した個人及び団体

(入 会)

第7条 会員の入会について、特に条件は定めない。

- 2 会員として入会しようとするものは、理事長が別に定める入会申込書により、理事長に申し込むものとする。

3 理事長は、前項の申し込みがあったとき、正当な理由がない限り、入会を認めなければならない。

4 理事は、第2項のものの入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

(入会金及び会費)

第8条 会員は、理事会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

2 既に納入した入会金、会費は返還しない。

(会員の資格の喪失)

第9条 会員が次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

(1) 退会届の提出をしたとき。

(2) 本人が死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は会員である団体が消滅したとき。

(3) 継続して1年以上会費を滞納したとき。

(4) 除名されたとき。

(退 会)

第10条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

(除 名)

第11条 会員が次の各号の一に該当する場合には、総会の議決により、これを除名することができる。

(1) この定款に違反したとき。

(2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

2 前項の規定により会員を除名しようとする場合は、議決の前に当該会員に弁明の機会を与えなければならない。

第3章 役 員

(種別及び定数)

第12条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 3人以上7人以内

(2) 監事 1人以上2人以内

2 理事のうち1人を理事長とし、1人以上2人以内を副理事長とする。

(選任等)

第13条 理事は理事会において選任する。監事は、総会において選任する。

2 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。

3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

4 法第20条各号のいずれかに該当する者は、この法人の役員になることができない。

5 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねてはならない。

(職 務)

第14条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

- 2 理事長以外の理事は、法人の業務について、この法人を代表しない。
- 3 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故があるとき又は理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。
- 4 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。
- 5 監事は、次に掲げる職務を行う。
 - (1) 理事の業務執行の状況を監査すること。
 - (2) この法人の財産の状況を監査すること。
 - (3) 前2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。
 - (4) 前号の報告をするために必要がある場合には、総会を招集すること。
 - (5) 理事の業務執行の状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べること。

(任期等)

第15条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠のため、又は増員により就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。
- 3 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(欠員補充)

第16条 理事又は監事のうち、その定数の3分の1を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解 任)

第17条 役員が次の各号の一に該当する場合には、総会の議決により、これを解任することができる。

- (1) 心身の故障のため、職務の遂行に堪えないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったとき。
- 2 前項の規定により役員を解任しようとする場合は、議決の前に当該役員に弁明の機会を与えなければならない。

(報酬等)

第18条 役員は、その総数の3分の1以下の範囲内で報酬を受けることができる。

- 2 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

第4章 会 議

(種 別)

第19条 この法人の会議は、総会及び理事会の2種とする。

- 2 総会は、通常総会及び臨時総会とする。

(総会の構成)

第20条 総会は、正会員をもって構成する。

(総会の権能)

第21条 総会は、以下の事項について議決する。

- (1) 定款の変更
- (2) 解散及び合併
- (3) 会員の除名
- (4) 事業報告及び決算
- (5) 監事の選任及び役員の解任
- (6) その他運営に関する重要事項

(総会の開催)

第22条 通常総会は、毎年1回開催する。

2 臨時総会は、次に掲げる場合に開催する。

- (1) 理事会が必要と認め、招集の請求をしたとき。
- (2) 正会員総数の5分の1以上から会議の目的を記載した書面により招集の請求があったとき。
- (3) 監事が第14条第5項第4号の規定に基づいて招集するとき。

(総会の招集)

第23条 総会は、前条第2項第3号の場合を除いて、理事長が招集する。

- 2 理事長は、前条第2項第1号及び第2号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。
- 3 総会を招集するときには、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的方法により、開催の日の少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(総会の議長)

第24条 総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から理事長が指名する。

(総会の定足数)

第25条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することはできない。

(総会の議決)

第26条 総会における議決事項は、第23条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

- 2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 3 理事又は正会員が、総会の目的である事項について提案した場合において、正会員全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。

(総会での表決権等)

第27条 各正会員の表決権は、平等なものとする。

- 2 やむを得ない理由により総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された

事項について書面若しくは電磁的方法をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

3 前項の規定により表決した正会員は、前2条及び次条第1項の適用については、総会に出席したものとみなす。

4 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議事の議決に加わることができない。

(総会の議事録)

第28条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
 - (2) 正会員総数及び出席者数（書面若しくは電磁的方法による表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。）
 - (3) 審議事項
 - (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
 - (5) 議事録署名人の選任に関する事項
- 2 議事録には、議長及び総会において選任された議事録署名人2人が、記名押印又は署名しなければならない。
- 3 前2項の規定にかかわらず、正会員全員が書面又は電磁的記録による同意の意思表示をしたことにより、総会の決議があったとみなされた場合においては、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。
- (1) 総会の決議があったものとみなされた事項の内容
 - (2) 前号の事項の提案をした者の氏名又は名称
 - (3) 総会の決議があったものとみなされた日及び正会員総数
 - (4) 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

(理事会の構成)

第29条 理事会は、理事をもって構成する。

(理事会の権能)

第30条 理事会は、この定款に別に定める事項のほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他総会の議決を要しない業務の執行に関する事項

(理事会の開催)

第31条 理事会は、次に掲げる場合に開催する。

- (1) 理事長が必要と認めたとき。
- (2) 理事総数の2分の1以上から理事会の目的である事項を記載した書面又は電磁的方法により招集の請求があったとき。

(理事会の招集)

第32条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長は、前条第2号の規定による請求があったときは、その日から14日以内

に理事会を招集しなければならない。

- 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的方法により、開催の日の少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(理事会の議長)

第33条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

(理事会の議決)

第34条 理事会における議決事項は、第32条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

- 2 理事会の議事は、理事総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(理事会での表決権等)

第35条 各理事の表決権は、平等なものとする。

- 2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面又は電磁的方法をもって表決することができる。
- 3 前項の規定により表決した理事は、前条及び次条第1項の適用については、理事会に出席したものとみなす。
- 4 理事会の議決について、特別の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。

(理事会の議事録)

第36条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
 - (2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名（書面又は電磁的方法による表決者にあつては、その旨を付記すること。）
 - (3) 審議事項
 - (4) 議決の結果
 - (5) 議事録署名人の選任に関する事項
- 2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人が記名押印又は署名しなければならない。

第5章 資 産

(資産の構成)

第37条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された資産
- (2) 入会金及び会費
- (3) 寄附金品
- (4) 財産から生じる収益
- (5) 事業に伴う収益
- (6) その他の収益

(資産の区分)

第38条 この法人の資産は、特定非営利活動に係る事業に関する資産とする。

(資産の管理)

第39条 この法人の資産は、理事長が管理し、その方法は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

第6章 会 計

(会計の原則)

第40条 この法人の会計は、法第27条各号に掲げる原則に従って行わなければならない。

(会計の区分)

第41条 この法人の会計は、特定非営利活動に係る事業会計とする。

(事業年度)

第42条 この法人の事業年度は、毎年10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

(事業計画及び予算)

第43条 この法人の事業計画及びこれに伴う予算は、毎事業年度、理事長が作成し、理事会の議決を経なければならない。

(暫定予算)

第44条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ収益費用を講じることができる。

2 前項の収益費用は、新たに成立した予算の収益費用とみなす。

(予算の追加及び更正)

第45条 予算成立後にやむを得ない事由が生じたときは、理事会の議決を経て、既定予算の追加又は更正をすることができる。

(事業報告及び決算)

第46条 この法人の事業報告書、活動計算書、貸借対照表及び財産目録等決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに、理事長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。

2 決算上剰余金を生じたときは、次事業年度に繰り越すものとする。

(臨機の措置)

第47条 予算をもって定めるもののほか、借入金の借入れその他新たな義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事会の議決を経なければならない。

第7章 定款の変更、解散及び合併

(定款の変更)

第48条 この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の4分の3以上の多数による議決を経、かつ、法第25条第3項に規定する事項については、所轄庁の認証を得なければならない。

2 この法人の定款を変更（前項の規定により所轄庁の認証を得なければならない事項を除く。）したときは、所轄庁に届け出なければならない。

(解 散)

第49条 この法人は、次に掲げる事由により解散する。

- (1) 総会の決議
 - (2) 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能
 - (3) 正会員の欠亡
 - (4) 合併
 - (5) 破産手続開始の決定
 - (6) 所轄庁による設立の認証の取消し
- 2 前項第1号の事由によりこの法人が解散するときは、正会員総数の4分の3以上の議決を経なければならない。
- 3 第1項第2号の事由によりこの法人が解散するときは、所轄庁の認定を得なければならない。

(残余財産の帰属)

第50条 この法人が解散（合併又は破産手続開始の決定による解散を除く。）したときに残存する財産は、法第11条第3項に掲げる者のうち、理事会において議決したものに譲渡するものとする。

(合 併)

第51条 この法人が合併しようとするときは、総会において正会員総数の4分の3以上の議決を経、かつ、所轄庁の認証を得なければならない。

第8章 公告の方法

(公告の方法)

第52条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。ただし、法第28条の2第1項に規定する貸借対照表の公告については、この法人のホームページにおいて行う。

第9章 事務局

(事務局の設置)

第53条 この法人に、この法人の事務を処理するため、事務局を設置することができる。

- 2 事務局には、事務局長及び必要な職員を置くことができる。

(職員の任免)

第54条 事務局長及び職員の任免は、理事長が行う。

(組織及び運営)

第55条 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

第10章 雑 則

(細 則)

第56条 この定款の施行について必要な細則は、理事会の議決を経て、理事長がこれ

を定める。

附 則

- 1 この定款は、この法人の成立の日から施行する。
- 2 この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。

理事長	小 林	洋 子
副理事長	石 崎	優 子
理 事	朝 倉	実 紗
監 事	白 石	和 彦
- 3 この法人の設立当初の役員の任期は、第15条第1項の規定にかかわらず、この法人の成立の日から令和4年12月31日までとする。
- 4 この法人の設立当初の事業年度は、第42条の規定にかかわらず、この法人の成立の日から令和4年9月30日までとする。
- 5 この法人の設立当初の事業計画及び予算は、第43条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによる。
- 6 この法人の設立当初の入会金及び会費は、第8条の規定にかかわらず、次に掲げる額とする。
 - (1) 入会金 正会員（個人・団体）・賛助会員（個人・団体）ともに 0円
 - (2) 年会費 正会員（個人・団体）3,000円 賛助会員（個人・団体）1口2,000円
(1口以上)

法人名: NPO法人まちのおやこテーブル

活動計算書

2021 年 12 月 6 日 から 2022 年 9 月 30 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	36,000		
賛助会員受取会費	4,000	40,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	419,378	419,378	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	100,000	100,000	
4. 事業収益			
社会教育事業収益	19,800		
自立実践サポート事業収益	7,300		
共生するまちづくり事業収益	8,000	35,100	
5. その他収益			
受取利息	1		
雑収益	1,635	1,636	
経常収益計			596,114
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
謝金	72,080		
印刷製本費	10,040		
会議費	4,991		
旅費交通費	8,460		
通信運搬費	1,538		
消耗品費	1,503		
保険料	4,143		
租税公課	200		
支払手数料	67,556		
仕入高	14,161		
広告宣伝費	2,000		
その他経費計	186,672		
事業費計		186,672	
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
消耗品費	2,190		
租税公課	3,150		
支払手数料	27,071		
その他経費計	32,411		
管理費計		32,411	
経常費用計			219,083
当期正味財産増減額			377,031
前期繰越正味財産額			0
次期繰越正味財産額			377,031

活動予算書

2022年10月1日から2023年9月30日まで

特定非営利活動法人まちのおやこテーブル

(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	39,000		
賛助会員受取会費	0	39,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	5,000	5,000	
3 受取助成金等			
受取助成金	222,000	222,000	
4 事業収益			
社会教育事業収益	30,000		
自立実践サポート事業収益	500		
共生するまちづくり事業収益	21,000	51,500	
5 その他収益			
受取利息	0		
雑収益	0	0	
経常収益計			317,500
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
謝礼	139,400		
会議費	5,340		
旅費交通費	15,340		
通信運搬費	21,435		
消耗品費	9,869		
保険料	3,075		
租税公課	0		
支払手数料	37,300		
仕入高	11,095		
広告宣伝費	36,400		
その他経費計	279,254		
事業費計		279,254	
2 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
消耗品費	7,089		
租税公課	0		
支払手数料	27,736		
その他経費計	34,825		
管理費計		34,825	
経常費用計			314,079
当期正味財産増減額			3,421
前期繰越正味財産額			377,031
次期繰越正味財産額			380,452

ごあいさつ

子育ては大変、忙しい、辛い、無理、肩身が狭いとネガティブになりがちですが、本来とても幸せなことです。子どもが萎縮せず伸びやかに育つ環境づくりは大人の問題です。



代表 小林洋子

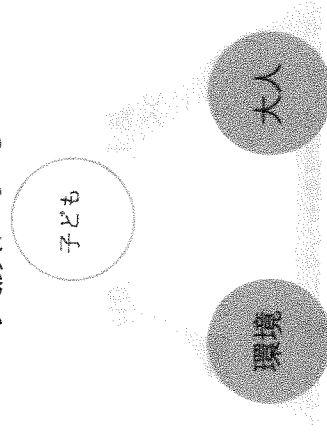
私たちは、子どもとその側の大人を笑顔にすることをミッションに「大人」と「環境」にアプローチします。

「大人」は親を笑顔にすること、そして、まちの子どもと緩やかに関わる「まちのおや」を増やす活動です。「環境」は子どもの存在がまちの一員として尊重されるまちづくりです。

大人の笑顔が子どもを包み、子どもや子育て中の方が必要以上に肩身の狭さを感じることのない子育てにポジティブな社会を作る一助になりたいと考えています。

ミッション

子どもとその側の大人を 笑顔にする



■事業内容

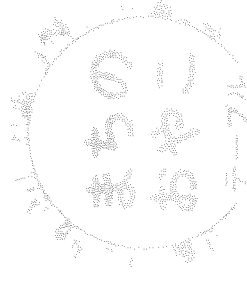
1. イベント型コミュニティ運営・支援事業（場づくり）
2. 幼児教育・子育てに関する社会教育事業（親の学びの場）
3. 育児の自己効力感形成・子どもの自立に関する実践サポート事業（物販）
4. 子どもと共生するまちづくり

子どもとの暮らしほど
かけがえのなく面白いときはない



子どものいる人も いない人も みんな
まちのおや

この辺りに住む子どもたちは みんな
まちの子ども



NPO法人まちのおやこテーブル

f @machino oyako.table

@sumicco_machi

https://machinooyako.theshop.jp

〒167-0042 東京都杉並区西荻北2-3-9

コメットビル6階factoria内

Tel: 090-6154-5343

Mail: info@machinooyako.com

Homepage: https://machinooyako.com